

第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

| 大学名（フリガナ） | 学部名（フリガナ） | 所属ゼミナール名（フリガナ） |
|--------------|-----------|----------------|
| オオサカケイザイダイガク | ケイザイガクブ | ニホンスギツヨシゼミナール |
| 大阪経済大学 | 経済学部 | 二本杉 剛ゼミナール |

| チーム名（フリガナ） | 代表者名（フリガナ） | チーム人数（代表者含む） |
|------------|------------|--------------|
| ボンカッコスギ | マツイ ミクリ | 6名 |
| ボン（杉） | 松井 美久梨 | |

研究テーマ（発表タイトル）

関西人よ、そこに愛はあるんか？

1. 研究概要（目的・狙いなど）

新発売の商品、認知度の低い商品などは、見ただけでは商品の魅力が伝わらないことが多い。そこで魅力を伝え、宣伝するのに有効なものが「アピール POP」である。まじめなポップから面白いポップまで多彩なバリエーションがある。しかしそれは、「売れるポップ」でないと意味がない。そこでアピール POP における言葉に注目し、関西弁と標準語の違いによって、人の購買意欲にどのような影響があるのかを実験した。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

商品の魅力を伝えるために、「アピール POP」を使うことは日常的である。しかし、ポップは多種多様でどのようなポップが売れるのかわからない十分な調査がされていない。方言 POP を使うお店も多いことから、方言に注目し、売り上げとの関係を調べる。

3. 研究テーマの課題

方言の魅力が商品の価値を上げ、売上にも貢献するだろうと予測し、方言 POP が売上に与える影響についてアンケート実験を用いて検証する。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

商品 PR に方言を利用することの有用性について考えたい。関西弁のイメージや、標準語に対するイメージについても調査する。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

商品を販売する際に、標準語と関西弁のアピール POP を利用して、どちらが消費者の購入意欲を増やすのかを検証し、さらにその結果の違いがどうして生まれたのかを、個々人の地域愛着度などのパーソナリティから明らかにする。

6. 結果や今後の取り組み

実験結果では、標準語の POP の方がよく売れる結果となった。しかし、関西への地域愛着度の高い人は関西弁 POP の方によく反応し、購入する傾向があることが分かった。これらの結果について考察する。

7. 参考文献

「日本語版対人反応性指標の作成」、日道俊之 小山内秀和、他、心理学研究,2017 年

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjpsy/advpub/0/advpub_88.15218/_pdf/-char/ja

(最終閲覧日:2019 年 10 月 3 日)

「方言イメージの形成」、永瀬治郎、専修大学、2011 年

file:///C:/Users/yamaoka/Downloads/5011_0096_07.pdf (最終閲覧日:2019 年 10 月 3 日)

心理測定尺度集Ⅱ-人間と社会のつながりをとらえる〈対人関係・価値観〉- (堀 洋道、吉田富二雄、サイエンス社 2001/6/25)

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物 (例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート)

【企画シート作成上の注意】 ※「第 10 回 西日本インカレ (合同研究会) 大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年 3 月に公開予定の「日経ビジネス電子版」にリンクされた特設サイトに掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更 (チームの人数・交代など) は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先 (使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など) を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

↑ここまでを 4 ページ以内に収めて、提出してください↑